

U-CoRo独案内

vol.14

■台地を潤す水、脈々とつながる人、水と生きるまち

U-CoRoでは今回、水面をのぞき込み、水の源をたどり、流れゆく先を見つめながら、水を通して上町台地とまち、そこに生きる人を映し見ることを試みました。伝った水脈は12本。今も水が湧き、流れ、用いられているところ。そして、すでに記憶のなかにのみ、水の音や水面のきらめきをみることもできないところ。水脈は多様です。

水を通じた出会いのなかで、お聞きした言葉や思い出話などをもとに、独案内を構成しています。また、12本の水脈以外に、上町台地の水のスポットを10カ所、ご紹介しています。

水脈から蜃気楼のように浮き立つ上町台地。台地を潤す水、脈々とつながる人、そして水と生きるまちへ、滴をたどってみてください。

謝辞

この展示は、取材にご協力くださったみなさまをはじめ、多くのご尽力によって実現しているものです。心からお礼申し上げます。

協力：足代健二郎さん、飯田郁子さん、海野航次さん、圓妙寺、オダギリサトシさん、加瀬敏夫さん、桂田秀人さん、環境デザイン事務所 素地、神田晃治さん、高津富、幸念寺、原点の会、五條宮、藤田孝治さん、玉造稲荷神社、西代官山クラブ、富士原純一さん、和想デザイン、そのほかのみなさま(50音順)

U-CoRo独案内 (ゆーころ・ひとりあんない) vol.14

NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 14

「上町台地・水先案内」(2011.7.4～11.11)

大阪市天王寺区清水谷町6-16 NEXT21 1階北U-CoRo

発行日 2011年7月4日

企画 U-CoRoプロジェクト・ワーキング

編集 橋本 渡/早川厚志/弘本由香里 デザイン 小倉昌美/北浦千尋

発行 大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)

大阪市中央区平野町4-1-2

印刷 (株)国際印刷出版研究所

この冊子、企画内容に関するお問合せ先 TEL:06-6205-3518(担当:CEL弘本)

※NEXT21の3階以上がフロアとなっておりますので、立ち入りはご遠慮ください。

表紙図版：旧木野村の旧家の中庭に建ち並ぶ井戸

独案内(ひとりあんない)＝まちや物事に不案内な人を助ける携帯便利な冊子のこと

この冊子は環境に優しい再生紙を使用しています

NEXT21/U-CoRoウィンドウ・エキジビション 14

上町台地・水先案内

2011.7.4 Mon—11.11 Fri



ごあいさつ

清水谷、細工谷、桃谷…。味原池、庚申池、毘沙門池…。利休井、越中井、梅の井…。

数々の谷筋が刻まれ、大小の池が点在し、湧水に恵まれた、水の都の原点・上町台地。台地を潤す水脈が、緑を育み、人を呼び寄せ、いのちと生業を支えてきました。意外と思われるかもしれませんが、古地図を手にまちをめぐれば、コンクリートに覆われたまちの深層に、今もその原風景が脈々と生き続けていることに気づかされます。

上町台地の水先案内。目を凝らし耳を澄ましてみれば、原風景への入り口は、まちのそこここに顔を出しています。路地の奥に生まれた田んぼから、社寺や旧家に息づく井戸から、ビルの足元に眠る池の跡・川の跡・橋の跡から、はたまた名水が生んだお酒から…。移り変わる都市の風景のなかで、だからこそ人とまちを大切につないでいきたいと願う水の縁が蘇ってくるようです。

U-CoRo ウィンドウ・エキジビション第14弾となる今回の展示「上町台地・水先案内」では、水とともに生きてきたまちの記憶をたどり、その流れを未来へつなぐ旅へとかけます。上町台地の深層を流れるつながりに触れ、欠くことのできない水の縁に出会っていただくことができましたら幸いです。

主催：大阪ガス エネルギー・文化研究所(CEL)
企画：U-CoRo プロジェクト・ワーキング



※ U-CoRo (ゆーころ)とは、NEXT21の1階「上町台地コミュニケーション・ルーム」の愛称です。この意をインターフェイスに、上町台地の時空につながり、出会いを紡ぎ、暮らしを育む取り組みを少しずつ重ねていくことができればと願っています。第1回～14回までの展示内容等は、U-CoRoホームページ <http://www.osakagas.co.jp/company/efforts/cel/ucoro/index.html> でご覧いただくことができます。





からほり・路地奥田んぼ

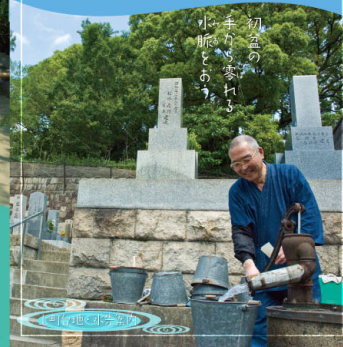
(中面地図①)

和想デザインは路地奥にある緑のデザイン事務所。古い建物を事務所に再生するだけでなく、地元の人たちと路地も再生し、井戸跡を再掘削し、空き地を田んぼにするなど、小さな空間を飽える公空間へ変貌させています。夏の終わりには楽しい地蔵盆も、トンネル路地へ飛び込んでみてください。

幸念寺・上町台地西麓の井戸

(中面地図⑦)

上町台地には城南寺町や中寺、生玉寺町など、いくつかの寺町があります。台地西麓に連なるのは下寺町。その寺院群のなかにある幸念寺には、今も二つの井戸があります。冬温かく、夏冷たい井戸の水は、参詣者の心を和ませるだけでなく、災害時には避難者の命をつなぐ役割も期待されています。



初盆の
手から零れる
水脈とあふ



原点の会・上町の水と天水

原点の会・服部商店
(中面地図⑨)

天王寺区内の酒屋有志の集まり「原点の会」。四天王寺境内と上六近くにも湧く井戸水をもとに、15年近く前から「上町の水」、「天水」と名付けた酒造りを続けています。上町台地のまさに地酒として、密かにファンを増やしています。原点の会メンバーのお店や近鉄百貨店上本町店で購入できます。

田島北ふれあい広場・雨水活用

(中面地図②)

田島北ふれあい広場は、空堀通商店街から南へ入る坂道路地にあります。地元住民が2年近く話し合い、防災機能も兼ねた広場に再生されました。雨樋で集めた水をタンクに貯めて、手押しポンプで出せるようにすることで、文字通り井戸端会議の場となり、子どもたちの楽しい空間にもなっています。



路地奥の
ポンプに群れる
雨ん坊

上町台地・水先“地理”案内

「水郷」といえば、だれもが思うのは中之島あたりや道頓堀など、上町台地の西側。しかし、台地上や台地東側に「水郷」だった名残があらちこにあります。目の前のU字のアップダウンは、道路が渡る谷間かも。近所の道はたの小さな石碑は、古き懐きの名残かも。まちを歩きながら五感をちょっと研ぎ澄ますと、今はない水の匂いがほかに香り、水の滴音が聞こえてくるかもしれません。池川が載る古地図を片手に、地形をたどって、台地やその東手にも、まちなかの水遊びへ出てみてください。



猫間川！ 探索行 オダギリ・サシ(大塚観光プランナー)
「猫間川を散策しましょう」そう誘われ、即答した。「何もなければ面白くないですわよ」。ところが散策当日、その先入観が音を立てて崩れていった。ええ歳の男女4人が、古地図を片手に街をキョロキョロ、時にはマンホールを覗き込み、地元の人からすれば「変な人」以外の何者でもない3時間のショートトリップ。誰かに何も無い。しかし、何もないところから川川があったことの奇蹟を見つけた時は、山根徳太郎の気持ちがあつた気がした。(大塚製)

注) 山根徳太郎は貴族院の議員を行ひ、寛政の高橋藩を元鎮した。

今日の「猫間川」取材のコース
(必ずしも旧川跡ではありません)



6 経緯界線・旧千鶴川跡



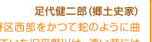
5 吉田町神社・和歌山町



10 水野お茶々に伝承する昔



今日の旧平野川山取材のコース
(必ずしも旧川跡ではありません)

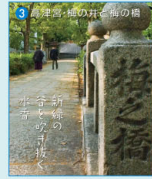


旧平野川跡を行く 足代健二郎(郷土史家)

上町台地の裾野、生野区西部をかつて蛇のように曲がりくねりながら北流していた旧平野川は、通い昔は百済川と呼ばれていたという。この川筋は大正時代に直線状に付け替えられて、新平野川とも平野瀬河とも呼ばれる。市街地の中をただの水路に変質した。かつての百済川の流域「百済野」の地は、折口宿(歌人・新道)が多くの池に散らばったことな田舎地帯であった。その古い水路の跡は今でも所々に風情を残している。



12 北太字閣下設水



3 経緯界線・旧千鶴川跡



4 経緯界線・旧千鶴川跡



12 北太字閣下設水



12 北太字閣下設水

12 北太字閣下設水

12 北太字閣下設水

12 北太字閣下設水

12 北太字閣下設水